

高知くらしの護身術

447

暖房器具

使用前に必ず点検を

(2017年11月14日掲載原稿)

寒くなると暖房器具を使う機会が増えますが、毎年、誤使用や不注意による事故が起きています。使用前に必ず点検を行い、正しい方法で使いましょう。

【使用前にチェック】

- ・ コントローラーやコード、コンセントに破損や不具合はないか。
- ・ ヒーター線の異常や、変色やきず・破れなどが表面にないか。コードの断線やヒーター線の異常は発火や発煙の原因となります。
- ・ 前年の灯油が器具のタンクに残っていないか。変質灯油（前シーズンから持ち越したもの）や水、ごみが混入した不純灯油は、異常燃焼や故障の原因になるので、使わないようにしましょう。

【使用中は】

- ・ 温風が当たる場所や火のそばに洗濯物などの可燃物やスプレー缶を置かない。火災や爆発の原因になります。
- ・ 石油暖房器具を使う時は、1時間に1、2回は換気する。換気が不十分だと、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ・ 給油する時は、必ず消火してから行う。給油後は、タンクのふたを確実に閉める。
- ・ 器具本体やコンセントプラグのほこりなどをこまめに掃除する。
- ・ 使わない時は電源を切り、コンセントを抜く。

暖房器具は、手入れをすることで効率よく使用できます。しかし長年使い続けている暖房器具は、経年劣化で故障が発生しやすく、重大な事故につながる恐れもあります。点検を行い、少しでもおかしいと思ったら使用を中止し、販売店やメーカーに相談してください。

万が一事故やトラブルが発生した場合は、消費生活センターに情報をお寄せください。

暖房器具の特徴と正しい使い方を知って、安全で快適な冬を過ごしましょう。